



編集・発行  
 日蓮宗 能勢妙見山  
 広報部  
 〒563-0132  
 大阪府豊能郡能勢町野間中  
 電話 072-739-0329  
 FAX 072-739-2883

# 虫払会祈禱祭

江戸時代のこと、能勢に帰国中の領主が突然江戸に戻るよう  
 呼び出されましたが、大井川の増水で川を渡れません  
 宝刀浪切り丸で波を鎮めたと伝えられています

## 〔7月の主な行事〕

☆七夕祭 7月7日まで  
 ☆虫払会祈禱祭 22日(金)〜24日(日)

宝刀「浪切り丸」を戴いて煩惱の虫を払います

★写経会 10日(日) 11時  
 ★清掃の日 15日(金) 11時  
 ★月例祈願法要 15日(金) 13時  
 ★鷗様月例祭 22日(金) 15時

## 〔8月の行事予定〕

★写経会 14日(日) 11時  
 ★清掃の日 15日(月) 11時  
 ★月例祈願法要 15日(月) 13時  
 ☆孟蘭盆会施餓鬼法要 22日(月) 13時  
 お盆にあたり塔婆を立ててご先祖供養します  
 ★鷗様月例祭 22日(月) 15時

●星嶺演奏会・茶論は当面の間休止

○諸行事は社会情勢により変更する場合があります

◎ご祈祷・ご回向等は

郵便・FAX・メールでも受付けています

◎写経はご自宅でもできます お問い合わせ下さい

○出会いの鐘巡りは「ひらがなあつめ」に代えて実施中

○登山カード押印は休止

○送迎車の運行は休止しています

◆ケーブル&リフトは水・木が定休日です(ただし、行楽シーズンなど例外あり)。詳細は能勢電鉄へお問い合わせ下さい。(TEL0727927716)

### 感応道交

相川大輔

最近、アメリカ出身の青年に仏事を教える機会があった。

彼の母親は日本人だが彼自身は幼少期よりアメリカで育ち、当然アメリカ人として生きてきたので、日本語はカタコトしか話すことができない。私自身も長い間英語を聞いたり話したりする機会がなかったたので、英語はカタコトしか分からない。

この言葉の壁を前にして初めは仏事を彼に伝えることは非常に困難であるように思われた。しかし、一日また一日と彼と接するうちに、それは杞憂であったと気づくことになった。  
例えば読経などの発声法を教える際、なかなか私の意図が伝わらず、彼がうまく実践できないことがあった。その時、私は思わ

ず彼に向かって

「Your breath (あなたの息を)を into yourself (あなた自身のの中に)だ!」と伝えると

「OK、OK! (わかった)」と彼。その直後に再び彼に発声してもらうと、今度はうまく発声できた。

「以心伝心」という言葉があるが、なるほどこういうことかと得心した瞬間であった。何でも貪欲に学び吸収したいという彼の真剣な姿勢と、これを彼に何とかして伝えたいという私の気持ち重なる時、心は障礙なく通じるのだ。

お釈迦様と私たちの関係についても同じことがいえるまいか。「感応道交(かんのうどうきょう)」という言葉がある。感とは、私たちが仏菩薩の力を発動させるために仏菩薩に向き合う姿勢をいい、応とは仏菩薩がそれに応じること。

自我偈の中にも、私たち

がお釈迦様の慈悲を信じて素直な姿勢でお釈迦様にお会いしたいと一身に願えば必ず靈鷲山でお会いできる、と説かれている。

冒頭の青年のように、お釈迦様にお会いしたいと素直でがむしゃらに願いながらこの日常を生きるのならば、その思いは必ず届く。なぜなら、いつでもどこでもお釈迦様の大きな慈悲は私たちに對して開かれているのだから。

### 一口メモ

小麦をはじめ生活に直結した物価の高騰が報道されています。ロシアのウクライナ侵攻の影響によるものだといえます。コロナ禍と自然災害に対して人類が団結して立ち向かわなくてはならない今この時に、私たち人間が直接に引き起こした災難です。世界中の人々の平和と幸福を祈った宗祖の願いを、必ずや成就させなければなりません。

### 《法華經に学ぶ現代》

〜純智庵〜

### 心に歡喜

梅雨が明ければ甲子園  
目指す球児の歓声が

### 充滿せること

日本全国 響きまます

### 甘露をもつて

勝つも良ければ  
負けるもよし

### 灌がるるが

互いにつかる意気と熱  
ベストを尽くす満足感

### 如し

汗と涙は青春の

『授学無学人記品第九』

心を潤す 甘露です

### 仏教まめ辞典

### 孟蘭盆会

一般にはお盆と言われている。供養されない死者の霊は餓鬼道に墮ちて、飢渴の苦しみを受けるといわれています。

孟蘭盆経という経典には、仏弟子の目連尊者が餓鬼道に墮ちた母を、仏の教えに従って救ったと説かれています。ここから餓鬼道に墮ちた霊に飯食を供養する、また広くご先祖供養をする行事が孟蘭盆会となりました。ちなみに孟蘭盆とは、逆さ吊りの苦しみを意味するウランパーナというサンスクリット語がもとになっています。日本では推古天皇十四年(六〇六)七月十五日に斎を設けたのが始まりとされています。

お盆は七月十三日から十五日、また地方によっては八月に行われ、家々に精霊棚を設けご先祖をお迎えして御馳走を供え、またお寺では塔婆を立てて施餓鬼法要を営んでご先祖の供養が行われます。